



日本同盟基督教団

児童発達支援・放課後等デイサービス

ジョイジョイ

2018年10月1日 NO.11

「神は眞実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に会わせるようなことはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道を備えてくださいます。」
せいしよ

今年の夏は格別、暑い日が続きましたね。また、6月の地震や大雨、9月の台風と圧倒的な自然の力に振り回されるような日々も続きました。子どもたちも様々な反応をしており、不安や恐怖にいる子どもたちの気持ちを共有しながら、「もし次に大きな災害が来たらこうでしょうね」などの確認と一緒にする時間をもちました。

また、小学生以上の子どもたちは夏休み期間中、10:30~16:30の1日プログラムで過ごしました。学習、昼食、遊び、お出かけなど、1日中一緒に過ごす中で、平日の数時間では分からなかつたその子の良さや課題などを知ることが出来ました。

2学期が始まりましたね。秋の行事を楽しみつつも、緊張し疲れてしまうお子さんもいるかと思います。学習も難しさを増していきます。一緒に問題や課題に対して考え、励まし、子どもたちが「今日、ジョイジョイに来てよかったです！」と思えるようになることを願っています。

管理責任者 吉持 早稚子

リトルジョイ

現在は、火曜日5名、木曜日2名の子どもがリトルジョイに来られています。幼稚園、保育所での活動を終え、少し疲れた表情の時もありますが、すぐに元気を取り戻し、個別課題、製作や運動遊び、一斉の活動、好きな遊び等、積極的に取り組む姿が見られます。

文字への関心が高まり、文字板を並べて言葉作りやひらがなパズルを根気強く楽しんでいます。遊びの時間は、お友達と一緒に大好きな昆虫探しやサッカー、かけっこ、ブロックでの製作を集中して楽しんでいます。

友だちとの関りを通して、様々なことを学んでいます。



ジョイジョイ

一学期や夏休みを経て、お友だちとも仲良くなり、ジョイジョイでのお友だち同士の関わりが増えてきたように感じます。

ジョイジョイでは、夏休みに立命館大学、アクアピア芥川、プラネタリウム、茨木文化財資料館へお出かけをしました。子どもたちは、お出かけを通して、大学の雰囲気や普段見られない動植物、星や歴史に触れ、少し緊張しながらも、見学を楽しんでいる様子でした。また、夏休みの製作では、自分の好きなデザインを考え、世界に一つのTシャツを作ることができました。

2学期もお友だち同士の関わりやコミュニケーションが更に増えるような環境作りを心掛けていきたいと思っています。

ーお家で Let's Tryー



「タッチングクイズ」『発達障害の子の感覚遊び・運動遊び』監修 木村順 講談社より

(ねらい) ボディーイメージの発達。自分の手足や体の実感を育てる。

(効果) 動作イメージがつかみやすくなり、全体的な動きが器用になる。



- ① 子どもの背中（上着なし）を撮影して、写真を印刷する。
- ② 右絵のように写真に印をつける。左右の肩、脇、腰の6か所。
- ③ 子どもは写真を見ながら、今どこに触れたかを当ててもらう。
直接背中の肌に触れることで感覚が働きやすくなる。

※実際はトップスを身に付けずに写真を撮る

●回数の目安：週2, 3回、10問 ●程度の目安：肌をギュッと押す強さで。

●挑戦：2点同時に触れる。背中に線を引き、どの点とどの点を結んだか答えてもらう。

ートレーニングー

今回も、前回紹介した「音韻指導」について紹介します。

音韻指導方法には、①単語の復唱「同じように言ってね」②単語の逆唱「反対から言ってね」③音韻分解「りんご。音はいくつ?」「りんご・りす。同じ音あるかな?」④音韻抽出「りんご。一番目の音は何?」⑤ことば遊び（しりとり・ことば集めすごろく）があります。音韻意識はひらがな学習の土台となる力であり、音韻意識と読み能力の繋がりは深いと考えられています。ひらがなを書くことや読むことに苦手意識のある場合でも、様々なメニューを組み合わせながら、一人ひとりが楽しく、嫌がることなく行えるように心がけています。

<ことば集めすごろく> *語彙を増やし、音韻分解を助ける遊びです。

ルール：「‘き’から始まる言葉」「動物の名前」などルールを決め、

物の名前を順番に言う。文字数に合わせてコマを進めていく。

例えば…「きりん」「きって」は3マス進みます。

「きゅうり」も「きゅ」を1文字と考えるので、3マス進みます。



〈身辺整理について〉

来所してからの準備手順がわかるように写真の手順表があります。自分で確認して自主的に行動できるようにするためのものです。連絡帳や水筒なども所定の場所に置くことで、わかりやすくしています。